

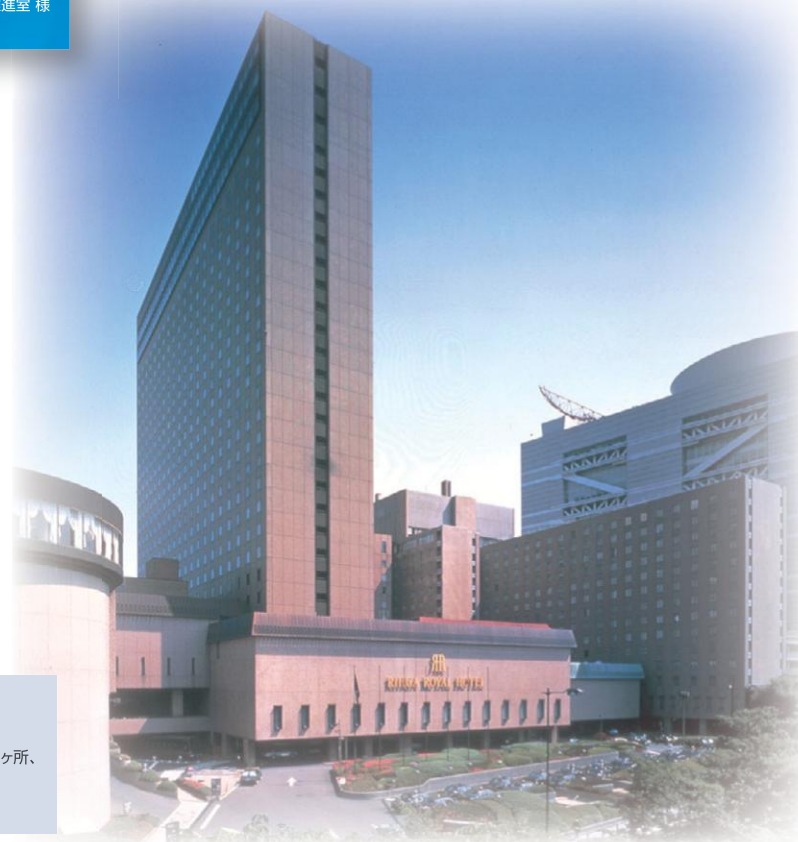
リーガロイヤル ホテル 様

取材撮影ご協力:
リーガロイヤルホテルグループ マーケティング部 広報ブランド推進室 様
リーガロイヤルホテル 管理部施設課 様

大阪政財界の「賓客のための近代的ホテルを大阪に」という願いから、前身である新大阪ホテルが1935年に誕生。1965年、現在地に新ホテルを建設した際、公募により「大阪ロイヤルホテル」と名付けられ、のちの1997年に「リーガロイヤルホテル」と改称しました。高層の新館（現タワーウイング）やアネックスなど増築・拡張を重ね、現在の規模に。客室やレストラン、宴会場、そしてショッピングやカルチャーなど、充実の施設を保有。「大阪が誇れるホテルであり続けること」を目指し、歴史と伝統に培われたおもてなしの心と最新設備で国内外の賓客を迎えられています。

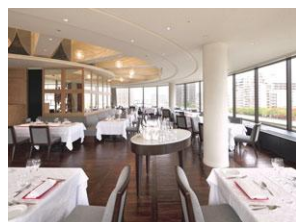
- 所在地 大阪府大阪市北区中之島5-3-68
- 開業 1965年10月11日(旧称:大阪ロイヤルホテル)
- 規模 地上30階/地下2階(客室 971室、会議・宴会施設 59ヶ所、レストランバー 21ヶ所、駐車場 840台収容)
- 延床面積 約174,734㎡

大阪でも有数の大宴会場を有し
関西の迎賓館と称される
創業約80年の都市型ホテル

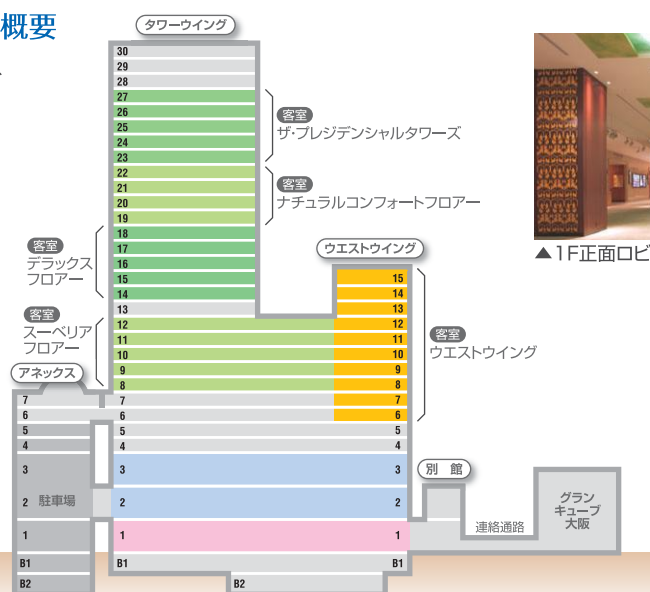


リーガロイヤルホテル フローア概要

30階の高さを誇るタワーウイングをはじめ、西日本最大級の室内プールを有するアネックス等の増築・増床を経て、数多くの客室と各種店舗・施設を備えた多機能型都市ホテルとなっています。



▲イタリアンレストラン ベラ コスタ (アネックス7F)



▲1F正面ロビー



▲オールデイドイニング リモネ (ウエストウイング1F)

賓客をおもてなしするくつろぎの空間づくりに、13基の吸収式冷凍機が大活躍

リニューアルによりガス使用量を大幅に削減し、省エネに貢献

ウエストウイング

当社のガス吸収冷凍機はウエストウイング全体を冷房。2011年リニューアルの250RT(200RTとして運用)2基は、夏場のフル稼働時の比較で20～30%ガス使用量を削減。オフシーズンはローテーション運転で負荷平準化も行われています。また、400RT・450RT機が製造する冷水は地下の蓄熱槽にも投入され、タワーウイング側と冷水の相互利用も行われています。



▲2011年リニューアルのBUW-HS250F1GL

- 納入機器 BUW-HS250F1GL×2基(2011年3月)
CUW-400FGL、DUW-HS450F1GL(2009年)
- 空調エリア ウエストウイング B2F～15F



CUW-400FGL(左)とDUW-HS450F1GL(右)

タワーウイング

ガス焚型と蒸気型(ボイラー蒸気を投入)を設置し、負荷に応じて運転しています。



▲ガス焚型のBUW240E1G



▲蒸気型のBW-240ES

- 納入機器 BUW-280E1G(1999年)
BUW-240E1G(2000年)
BW-240ES×2基(2000年)
- 空調エリア タワーウイング 6F～30F

別館



- 納入機器 AW-HS120E1S(2003年)
- 空調エリア 別館部分

アネックス



- 納入機器 SUW-H60LE×4基(2005年)
- 空調エリア B1F・B2F(増床分)